

お年寄りにやさしい町づくり 「10年後の赤間西プラン」をつくろう!

～赤間西小6年生総合的な学習～



赤間西地区の高齢化の現状について説明する赤間西地区福祉会 山本凱教長

子どもたちは、自分たちが考えている以上に高齢化が進んでいることに気づき、年を重ねても生き生きと暮らせる町について考えるきっかけとなりました。

赤間西地区の現状を理解
赤間西地区福祉会会長の山本凱教長さん、副会長の加来節夫さん、事務局長の河村光明さんが10月3日、各クラスで赤間西地区の高齢化率のデータをもとに、10年後さらに高齢化が進んでいくことなどについて説明を行いました。

赤間西小学校6年生の福祉教育の取り組みとして、高齢化社会に焦点をあてた学習が、10月から始まりました。赤間西地区に住んでいる高齢者へのインタビューや交流活動、赤間西地区の高齢化率の現状(下表)などから課題を見つけ、その解決のために見通しのある「10年後の赤間西プラン」を立てるものです。また、この福祉教育の取り組みには、赤間西地区福祉会や赤間西地区内の各小地域福祉会が全面的に協力しています。

高齢者の立場に立って 高齢者疑似体験

子どもたちは、加齢とともに現れてくる機能の低下や、高齢者の体の特徴などを理解するために、高齢者疑似体験セット「もみじ箱」を装着し、高齢者の筋力の衰えや視力の低下した状態など、高齢者の日常の動作を疑似体験しました。

子どもたちは、加齢とともに現れてくる機能の低下や、高齢者の体の特徴などを理解するために、高齢者疑似体験セット「もみじ箱」を装着し、高齢者の筋力の衰えや視力の低下した状態など、高齢者の日常の動作を疑似体験しました。

子どもたちは、加齢とともに現れてくる機能の低下や、高齢者の体の特徴などを理解するために、高齢者疑似体験セット「もみじ箱」を装着し、高齢者の筋力の衰えや視力の低下した状態など、高齢者の日常の動作を疑似体験しました。

子どもたちは、加齢とともに現れてくる機能の低下や、高齢者の体の特徴などを理解するために、高齢者疑似体験セット「もみじ箱」を装着し、高齢者の筋力の衰えや視力の低下した状態など、高齢者の日常の動作を疑似体験しました。

高齢者とのふれあい活動

10月24日、地域の高齢者との交流活動を通じ、赤間



赤間西地区の現状についてインタビューする子どもたち

子どもたちはこれらの学習活動から、地域の高齢者をはじめ、赤間西地区に住



高齢者疑似体験
「枠の中に文字を書いてみるけど...
思うようにうまく書けないなあ~」

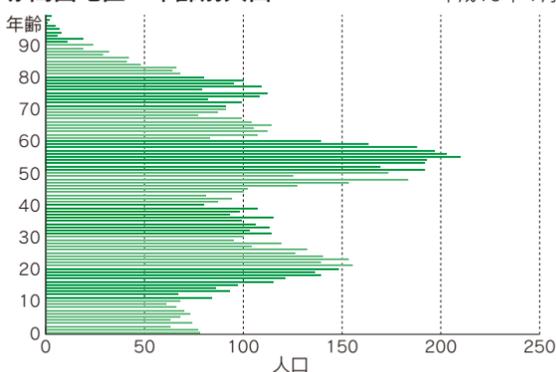


113号
平成19年12月1日
発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

赤間西地区人口・世帯数状況表 平成19年3月末日現在

赤間西地区					
行政区名	世帯数	人口	世帯 構成員	65歳 以上	高齢化 率
土穴	1,046	2,251	2.2	542	24.1%
三郎丸	518	1,409	2.7	221	15.7%
大谷	523	1,542	2.9	185	12.0%
泉ヶ丘1丁目	256	842	3.3	63	7.5%
泉ヶ丘2丁目	293	958	3.3	86	9.0%
マンション土穴1	86	236	2.7	16	6.8%
マンション土穴2	69	169	2.4	9	5.3%
赤間ヶ丘1区	246	600	2.4	231	38.5%
赤間ヶ丘2区	174	422	2.4	172	40.8%
城ヶ谷	355	810	2.3	364	44.9%
城山	162	378	2.3	139	36.8%
赤間西地区計	3,728	9,617	2.6	2,028	21.1%
宗像市全体	36,679	95,418	2.6	19,414	20.3%

赤間西地区 年齢別人口 平成19年4月



介護予防いきいき交流会事業の 看護師・保健師募集

市内の小地域福祉会で実施している介護予防いきいき交流会事業「いきいきふれあいサロン」で、高齢者の健康チェックをする看護師・保健師を募集しています。

- 勤務内容
 - ①健康チェック(血圧・体重・体脂肪の測定)
 - ②参加者の記録作成
 - ③健康に関する相談業務
 - ④参加者の状況観察
- 勤務時間 1回につき1時間程度
- 勤務場所 いきいきふれあいサロンを実施する各会場(公民館、コミュニティ・センターなど)
- 賃金 1回1,500円
- 活動費 1回300円
- 募集人数 若干名
- 問い合わせ先 総務福祉係 ☎(37)1300 担当(酒見・水上)
- その他 総務福祉係へ履歴書と看護師・保健師免許状(コピー可)を持参ください。採用は、後日面談のうえ決定します。



乗馬体験コーナー
お馬さんに乗ってポッカポッカ歩いたよ

講演会「心のふれあい―家族のきずな―」では、慈明院の吉住明海住職から心温まる話があり、時に笑い、時に感動するひと時を過ご

**「健康・福祉・地域の和」をテーマに
ゆめゆめしんじゆり
in 玄海2007 開催**
10月28日、市保健福祉会館「ゆうゆうぷらざ」を会場に「ゆうゆうまつりin玄海」を開催しました。
昨年から玄海4地区コミュニティによる共同開催になっていますが、今年は、各コミュニティから1店ずつバザー出店がありました。
釣川クリーンアップ作戦を兼ねた「健康ウォーク」



両足を失い、人生を投げ捨てて生きてきたが、あとから気付いた「親の愛情と支え」に、涙…の講話

チャリティー益金のご寄付 ありがとうございました

光岡に九州場所の巡業部屋を構えている武蔵川部屋(元横綱三重ノ海親方)から、「青少年の健全育成に役立ててください」と、チャリティーイベント益金20万円の寄付をいただきました。
この益金は、11月3日にトリアーダ宗像を会場に、毎年恒例のお相撲さんによる「ちゃんこ鍋」や「餅つき大会」などで得た収益です。
本会では、寄付の趣旨に沿うように、福祉教育セミナーやジュニアボランティアスクールなどに、有効に使わせていただきます。ありがとうございました。



また、体験コーナーでは、昨年まで行われていた手話に加えて、点字と音訳が加わり、多くの参加者がボランティアの人たちとふれ合い、テーマである「健康・福祉・地域」について「和」の大切さを感じました。
今回で3度目の「日用品バザー」では、たくさんのボランティアや地域のみなさんに品物の提供をいただきました。
この売上金は「まつり」の事業費として活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

